

子どもと子育てにやさしい生活環境をつくる

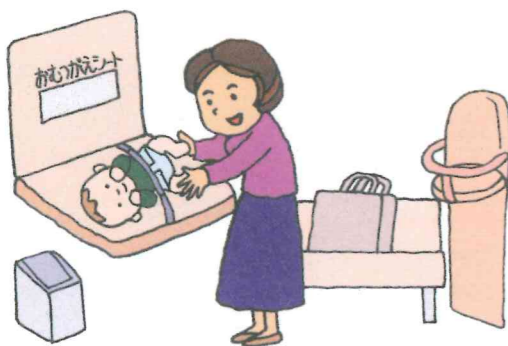
子育て家庭にやさしいまちづくりのためには、妊婦や子ども連れ、幼児、児童等が安心して外出できる生活環境の整備が必要です。また、良質な住宅の提供などにより、子育て家庭の定住化を図っていきます。

さらに、予期せぬ事態に備え、事故予防対策、防犯・防災対策に努め、子どもの安全の確保を図ります。

1 子育てバリアフリーの推進

●安心して外出できる環境の整備

「乳幼児を連れた親子が利用しやすいトイレや授乳室が設置されている」「ベビーカーを使いやすい」など、子育てバリアフリーな環境の整備を推進します。



●安心・安全な道路交通環境の整備

乳幼児を連れた親子が安心して通行・利用できる安全で快適な道路・交通環境を整備します。

2 良質な住宅の確保と住環境の整備

●いい街金沢住まいづくり奨励金

地区計画区域等で40歳未満のファミリー世帯を対象に、住宅新築・購入にかかる借入金の一部を助成します。

3 子どもの安全の確保

●子どもの事故予防の推進

自動車事故や遊具による事故の防止活動を推進します。

●防犯対策の推進

子どもたちを凶悪な犯罪から守るために必要な設備やシステムの整備、地域におけるパトロールや防犯活動の推進を図ります。

★保育所等の耐震診断

保育所および私立幼稚園の耐震診断および耐震設計に要する費用に助成します。

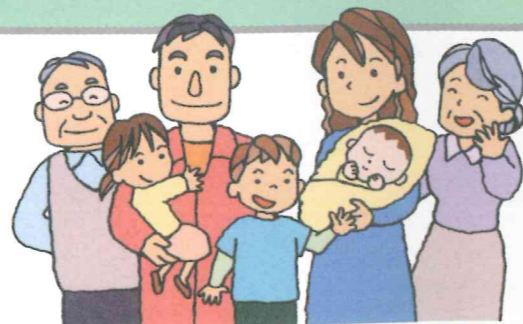
計画の推進

「かなざわ子育て夢プラン2005」は、行政だけでなく、市民や関係機関・団体など、社会全体の協働により推進していきます。

特に、市民一人ひとりがそれぞれのできる範囲で、地域の子どもと子育て家庭を温かく見守り応援できるよう、本計画とこの趣旨について市民に積極的に広報して周知を図るとともに、施策の推進過程で市民の参画を進めていきます。

●子育てに関するお問い合わせ●

こども福祉課（子育て支援、保育所入所）	TEL 220-2299
教育プラザ富樫相談センター（育児・教育相談）	TEL 243-0874
〃（家庭相談員）（養育・虐待相談）	TEL 243-8348
泉野福祉健康センター（健診、育児・健康相談）	TEL 242-1131
元町福祉健康センター（ 〃 ）	TEL 251-0200
駅西福祉健康センター（ 〃 ）	TEL 234-5103



金沢市少子化対策推進行動計画
かなざわ子育て夢プラン2005（概要版）

平成17年（2005年）3月
金沢市福祉健康局こども福祉課
〒920-8577 金沢市広坂1丁目1-1
TEL (076)220-2299
FAX (076)220-2360

URL <http://kodomo.city.kanazawa.ishikawa.jp>

かなざわ子育て夢プラン2005



金 沢 市

概 要 版

かなざわ子育て夢プラン2005とは

計画策定の背景と目的

わが国の合計特殊出生率（女性が一生の間に生むと推定される子どもの数）は、戦後の第1次ベビーブーム期以降急速に低下を続け、平成15年（2003年）には1.29になりました。これは、現在の人口を保つための合計特殊出生率の2.07を大きく下回っており、わが国の人口は平成18年（2006年）をピークに減少に向かうといわれています。本市の平成15年（2003年）の合計特殊出生率は1.28であり、全国と同様に年々低下傾向にあります。

今後、高齢者人口が大幅に増加する一方、一層の少子化が進行していくことが予測され、この少子・高齢化の進展は経済の発展を停滞させ、活力のない社会を招くとともに、子どもの成長にさまざまな影響を与えることが懸念されています。

「かなざわ子育て夢プラン2005」は、このような状況から、少子化の流れを変えるため、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ育つ環境を整備することを目的に策定しました。



基本方針1

心豊かな未来の親の育成と若者の自立を支援する

金沢の豊かな自然や伝統文化にふれる機会や、国際交流、社会体験など様々な体験の場を幼少期から提供し、その中で年代や年代の違う多くの人々との関わりを通して、心豊かな未来の親への成長を促し、同時に子育てのすばらしさや、家庭を築くことの大切さを伝えていきます。

また、大人への旅立ちとしての思春期の大切さを認識し、性を尊重した未来の親の育成と若者の自立を支援するとともに、将来、若い世代が暖かい家庭を育み、その中で安心して夢を持って子育てができるよう社会全体で考えていきます。

※●★は主な事業（★は新規）

1 次代の親の育成

★保育所・幼稚園における乳幼児ふれあい教室

保育所や幼稚園（子育て夢ステーション）において小中高校生と乳幼児のふれあい教室を開催します。

【実施か所数】 21年度 各小学校下に1か所



●職人の技術やものづくりを体験する機会の提供

子どもマイスターズスクール、ものづくり講座 など

●21世紀美術館や美大における体験活動の機会の提供

e A Tジュニア芸術展、キッズプログラム、夏休み1日美大生講座 など

2 思春期における支援の充実

●学校における健康教育の推進

エイズや性について、正しい知識と予防する能力を培うとともに、生命の大切さを学ぶため、エイズ教育の推進を図ります。

●不登校児童生徒への支援

適応指導教室での居場所づくり、引きこもり児童生徒の訪問相談や保護者・学校への相談・助言を行います。

3 若い世代の交流促進と自立支援

●児童館・放課後児童クラブふれあい交流

児童館・放課後児童クラブの活動を大学生のボランティア等に体験してもらい、異年齢交流と子育てボランティアの育成を目指します。

【実施か所数】 16年度 全児童館・児童クラブ39か所
→ 21年度 全児童館・全児童クラブ

★子どもふれあい入浴デー事業

異年齢の子どもたちの交流や世代間交流を推進するため、公衆浴場でふれあい入浴デーを設定します。

●高齢者地域サロンにおける世代間交流

地域による運営を基本とした「高齢者地域サロン」において、学校や地域の保育所と連携して、高齢者と子どもたちとの交流を推進します。

【「こどもとの交流」を実施する地区数】
16年度 39地区→ 21年度 62地区

●豊かな心を育む地域連携活動

学校教育活動として、地域と連携してボランティア活動や自然体験を実施します。

●金沢の伝統文化を体験する機会の提供

金沢素囃子子ども塾、ふるさと歴史ふれあい事業 など

★若者つどい・であい広場事業

職域団体、企業、地域等と連携しながら、若者の出会いと交流の場を提供します。



●若年者等トライアル雇用奨励金

国の「試用雇用事業」の対象となり、引き続き常用雇用となった35歳未満の人を雇用する事業主に対し、奨励金を交付します。

基本方針2

楽しくいきいきと子育てができる環境をつくる

本市には、様々な子育て資源があり、また古くからの豊かなコミュニティの土壌があります。しかし、近年、都市化や核家族化が進み、隣近所や近親者とのかかわりが希薄になりつつあり、孤立感を抱えながら不安定な状態で子育てをしている家庭が少なくありません。

このため、子育て家庭に対して、きめ細やかな子育て支援サービスを提供するとともに、ソフト・ハード両面から地域の子育てネットワーク化を図ります。同時に、利用者の立場に立ったわかりやすい情報の提供と必要な経済的支援に努めます。

1 子育て支援拠点の整備および機能の充実

●教育プラザ富樫の充実

金沢子ども条例の基本理念に基づき、福祉と教育分野が連携を図り、乳幼児から中学生までの子どもたちの健全育成を一貫して推進するため設置した教育プラザ富樫を充実します。

●金沢こども広場事業の充実

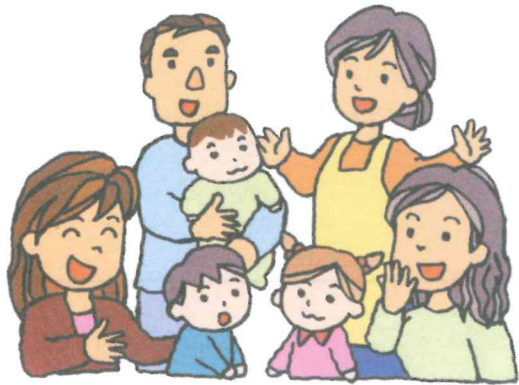
乳幼児とその親が交流や相談の場としていつでも気軽に集える金沢こども広場を充実し、育児不安の解消につなげます。

【設置か所数】 16年度 4か所 → 21年度 7か所

★子育て夢ステーションの設置

保育所・幼稚園・児童館を子育て夢ステーションとし、地域の妊産婦や親子が気軽に育児の相談や育児講座への参加、友達づくりができる場とします。

【ステーション数】 21年度 100か所



●子育てサロンの充実

公民館等を利用して、乳幼児とその親が気楽に集まることのできる場として、子育てサロンを設けます。地域のボランティアや児童委員らが中心となって、親の育児不安解消のための支援を行います。

地域版【実施地区数】 16年度 26地区 → 21年度 36地区
NPO版【実施か所数】 16年度 3か所 → 21年度 5か所

★かるがも親子教室

1歳児とその保護者を対象とした遊びと親子の交流の教室を開催します。

2 緊急時等の一時的な子育て支援策の充実

●一時保育事業・休日一時保育事業

保護者の病気等により一時的に家庭で保育できない児童の保育を実施します。

【受入可能保育所数】
一時保育 16年度 101か所 → 21年度 全保育所
休日一時保育 16年度 2か所 → 21年度 2か所

●ファミリーサポートセンター事業

会員同士の育児相互援助活動の支援と子育てに関する講習や交流会等を実施します。

【会員数】 16年度 442人 → 21年度 1,000人



●産後ママヘルパーの派遣

産褥期のため、家事や育児の困難な核家族等の家庭にヘルパーを派遣します。

3 地域の子育てネットワーク化の推進

●子育てサークル活動の支援

乳幼児を持つ保護者が集まる子育て自主サークルに要する費用を補助します。

●子どもを育てる地域プランづくり事業

地域の各種団体が連携し、地域の特色を生かした子どもを育てる地域行動計画を策定します。

【プラン策定地域数】 16年度 30地域 → 21年度 35地域

4 効果的な子育て情報の提供

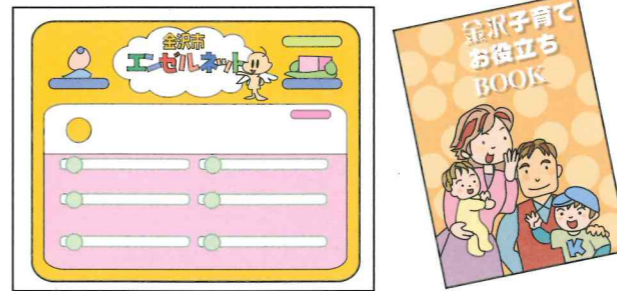
●子育て支援総合コーディネイト事業

教育プラザ富樫、城北児童会館に子育て支援コーディネーターを配置して、必要な子育て支援サービス情報を提供します。

●子育て総合情報誌等の充実

冊子とインターネットを通して、子育てに関するさまざまな情報を提供します。

【金沢子育てお役立ちBOOKの認知度】
16年度 54% → 21年度 80%
【エンゼルネット等の認知度】 16年度 29.8% → 21年度 80%



<エンゼルネット <http://kodomo.city.kanazawa.ishikawa.jp>>
<子育てお役立ちウェブ <http://www.kanazawa-kosodate.net>>

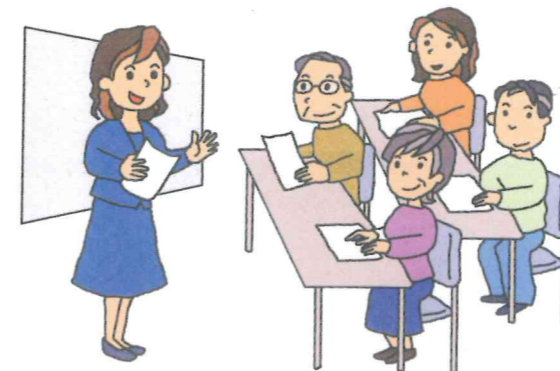
5 子育てに関する学習・相談の充実

★～パパも参加～金沢ママさんカレッジ事業

子育て中の親、これから親になる人、子育ての支援を希望する人などを対象に、子育ての基礎講座と子育て中の親が自ら企画・運営するステップアップ講座を開催し、親としての成長を支援します。

★子育て金沢カリキュラム（親育ち学習指針）の作成

親が親として成長するために必要な事柄をライフステージに応じて体系的に学べるよう指針を作成します。



●子育てホットライン

妊娠、出産、育児に関する疑問や悩みについての専用電話やFAXによる相談を、福祉健康センターにおいて受け付けます。
TEL 244-4500 (泉野)・251-3500 (元町)・234-3500 (駅西)

6 子育てに対する意識変革の推進

★父親育児教室

子育て夢ステーション（保育所・幼稚園）において、未就園児と父親の育児・遊びの教室を開催します。

【実施施設数】 21年度 全ステーション（保育所・幼稚園）



★みんなで子育て啓発事業

育児に関するテーマを設定し、そのテーマに沿った調査、広報等啓発活動を市民グループへ委託して実施します。

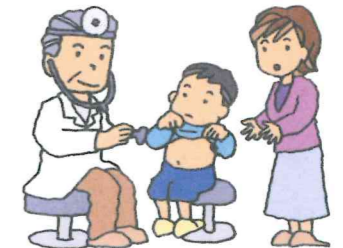
7 経済的な支援の充実

★就学児童医療費助成

小学校就学児童の入院にかかる医療費の一部を助成します。

●乳幼児医療費助成

乳幼児にかかる医療費の一部を助成します。



●保育料の軽減

国の示す基準の保育料に対する保護者負担の軽減と多子世帯への軽減を図ります。

●私立幼稚園就園奨励費

私立幼稚園の入園料・保育料の一部を助成します。

●金沢子育てサービス券事業

産後ママヘルパー派遣事業、ファミリーサポートセンター事業の利用料の一部を補助する子育てサービス券を支給します。

★ようこそ赤ちゃん子育て必需品支給事業

育児開始時の負担の軽減と育児しやすい環境を整えるため、育児経験者や専門家のメッセージとともに、子育て必需品を保護者へ贈ります。

8 ひとり親家庭への支援の充実

★母子家庭等自立支援計画の策定

母子家庭等ひとり親家庭のニーズを把握し、必要な支援について検討します。（17年度実態調査・18年度策定）

基本方針3

子どもと家族の心と身体の健康を支援する

母子健康手帳をもらった喜びは、子育てのスタートです。喜びと不安が交錯した妊娠中の母親を応援し、安心して出産、育児ができるよう、またすべての子どもが健やかに成長できるように、保健、医療、福祉等の分野が連携して一貫した支援に取り組みます。

また、発達に遅れや障害のある子どもとその家族や、育児困難を感じている保護者へ支援を行うとともに、児童虐待の予防体制の強化に取り組みます。

1 妊娠・出産・育児の総合的な支援

●安心出産育児支援ネットワーク事業

ハイリスクの妊産婦や乳幼児に対し、医療機関と連携して早期の家庭訪問により支援するとともに、虐待予防を図ります。

【連携件数】 15年度 102件 → 21年度 210件



●福祉健康センターにおける各種教室

日曜子育て教室、すくすく育児教室、未熟児教室、多胎児教室、10代ママパパ教室、外国人ママパパ教室 など

●健康診査事後指導の実施

乳幼児健康診査後のフォローアップとして専門相談や保健師、栄養士による訪問・電話相談等を実施します。

【フォロー率】 15年度 80% → 21年度 100%

2 食育と歯の健康の推進

●食育の推進

保育所・学校等の給食や、食に関する教室の開催等により「食育」の啓発等を行い、食生活の改善を通して子どもの健康増進を図ります。

●歯の健康の推進

子どもたちのむし歯の予防など歯の健康を確保するため、歯科健康診査や教室、個別指導など、歯科保健対策を強化します。

3 小児保健医療体制の整備

●救急医療体制の整備

関係医療機関と協力し、子どもの夜間・休日等における救急医療体制を確保します。

4 発達に遅れや障害のある子どもへの支援

★幼児期から中学生までの総合巡回相談事業

教育プラザ富樫に巡回サポートチームを設置し、学校、保育所、幼稚園、児童館、放課後児童クラブへ巡回カウンセラーを派遣します。

★障害児のための拠点型児童クラブの開設

養護学校に就学している児童を対象とした児童クラブを開設します。

●幼児相談室

言葉の遅れや情緒が不安定など、子どもの発達で気になる親子に対して継続的な指導を行います。

5 児童虐待予防体制の充実

★児童相談所の設置

福祉・保健・教育が連携した児童相談所機能を有する総合相談体制を構築します。

17年度準備室設置 18年度児童相談所開設予定

●市民グループとの協働による児童虐待防止啓発事業

虐待防止に取り組む市民グループと市の連携による啓発事業を実施します。

★ドメスティック・バイオレンス講座

DV家庭に育った子どもを早期発見し、その子どもの心をケアし、「暴力の世代間連鎖」を断ち切るための講座を開催します。

6 不妊への支援の充実

●不妊治療費の助成

体外受精、顕微受精について、1年間10万円を限度に助成金を支給します。

基本方針4

男女ともに子育てと仕事が両立できる環境をつくる

就労形態の多様化や核家族化が進んでいく中で、「働くこと」と「子育てをすること」の両立が求められています。

安心して子どもを預けることができるよう、保育サービス等の充実を図る一方で、男女がゆとりを持って仕事も家庭生活も、さらには地域活動も行える働き方ができるように、事業者や地域社会に対して理解と協力を求めていきます。

1 多様で弾力的な保育サービス等の充実

●保育サービスの充実

【受入可能保育所数等】

延長保育	16年度 111か所	→ 21年度 全保育所
乳児保育	16年度 111か所	→ 21年度 全保育所
夜間保育	16年度 2か所	→ 21年度 2か所
休日保育	16年度 6か所	→ 21年度 7か所
年末保育	16年度 103か所	→ 21年度 全保育所
統合保育	16年度 107か所	→ 21年度 全保育所

●24時間型保育事業

深夜にわたって勤務されている世帯を対象に、昼間の保育に引き続き翌朝までの保育を実施します。

●病院併設型病児一時保育の実施

病中・病後の保育に欠ける児童の一時保育を実施します。

【受入可能施設数】 16年度 3か所 → 21年度 5か所

★幼稚園・保育所の連携保育モデル事業

幼稚園と保育所において、児童、幼稚園教諭、保育士の相互交流を行うモデル事業を実施します。

★幼稚園預かり保育の推進

パートなど短時間就労者への幼児教育・保育サービスを年間を通じ提供するため、夏休みなどの預かり保育を推進します。

●放課後児童クラブの拡充

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象とする児童クラブについて、地域の実情に応じて拡充します。

【児童クラブ箇所数】 16年度 67か所 → 21年度 74か所

2 「働き方の見直し」と企業の自主的な取り組みへの支援

●仕事と家庭の両立支援セミナー

企業の人事担当者や勤労者に対し、仕事と家庭の両立について考えるセミナーを開催します。



★次世代育成支援事業所認証フォーラム

次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を先駆的に策定した中小企業事業主へ、認証プレートの交付とフォーラムを開催します。

就学前児童の居場所と子育て支援拠点

